

第2回「みどりの北海道米チャレンジ」

ホクレン農業協同組合連合会



【組織等の概要】

- 代表者：代表理事会長 篠原 末治
- 所在地：札幌市中央区北4条西1丁目3番地
- 連絡先TEL：011-232-6278
- URL：[ホクレン農業協同組合連合会 \(hokuren.or.jp\)](http://hokuren.or.jp)

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 全国でトップクラスの米生産量を誇る北海道で、今後、「みどりの食料システム戦略」や「SDGs」に沿った「環境負荷軽減」に繋がる米生産の拡大を目指す。
- ◆ 「2050年までに目指す姿」として示される「化学肥料3割低減」「化学農薬5割低減」の項目などに既に目標達成している産地と、各バイヤーとのマッチングの機会創出を目的として、昨年第1回「みどりの北海道米チャレンジ」を開催。
- ◆ 今年、第2回目として、引き続き、各生産部会の取組紹介及びバイヤーとの商談会を実施。
- ◆ 新たな取組として、マッチングに「みらい米市場[※]」を活用。
[※]「公益財団法人流通経済研究所」による米のオンライン現物市場。米の生産者、集荷事業者、卸売業者、実需者等が参加者となり、オークション・注文方式で売買可能。

【商談会の開催】

- みらい米市場には、11生産部会の米15点（計約80トン）がエントリー。
- 各生産部会の個別ブースにて、米（玄米・精米）のサンプル等の展示や新米試食等によるPRが行われた。

【各生産部会の主な取組】

- 圃場リモートセンシングサービスにより全圃場のタンパク傾向・施肥状況を推測し、土壌診断の結果と合わせた適正施肥の実施。
- 基盤整備後の圃場への自動給水装置と地下水位制御システムの設置による、水管理の省力化。
- 畦畔にハーブを植え、カメムシの発生源である雑草の抑制による農薬の低減。
- 保管倉庫で雪を利用する、環境にやさしい冷房システムの採用。
- 中干しによるワキ対策（酸欠下での有機物分解によるメタンガスの発生抑制）の実施。
- フェロモントラップ、すくい取りによるカメムシの防除の実施。
- 収穫後の稲わらの秋鋤き込みによる、メタンガスなどGHG排出の削減。
- みどりのチェックシートに定める環境負荷低減の取組の実施。